

# めぐみ

ガラシアニュース

<http://www.gratia.or.jp/>

2018

No. 159



ガラシア菜園の収穫物

## 目次

ガラシア病院と共に 三つの建物との出会い  
在宅療養の力  
ホスピス夏祭り  
デイケアで「楽リハ」やってみませんか？  
当院では、頸動脈エコー検査を実施しています  
病院増改築工事現況  
がらしあまつりのお知らせ

## お知らせ

### ● 糖尿病教室

2018年9月27日(木) 12:50～14:10(受付 12:30)

場所：7階ガラシアホール

### ● がらしあまつり

2018年10月28日(日) 10:00～13:00(雨天決行)

場所：病院2階フロア、7階ホール、老健玄関付近



# ガラシア病院と共に 三つの建物との出会い

## 新しいぶどう酒は新しい皮袋に（マタイ 9.17）

ガラシア病院は1953年11月に大阪市西区阿波堀通に設立されましたが、16年後の1969年4月に現在地に移転しました。私はこの移転の頃、シスターになるための修練期中でした。修練の一つとしてでしょうか先輩方と一緒に引越しの手伝いに来ました。完成したばかりの真新しい、真っ白な、新緑に映る建物でした。中は決して広々とした廊下や部屋ではありませんでしたが、ベッドが入り、テーブルが置かれると、とても素敵な病室となりました。私たちはベッドメイキングや環境整備に務めました。数日後、患者さんが引っ越してこられましたが、これまでの交通量の多い賑やかな市街地と、この静かな里山とのあまりにも違いすぎでさみしさを感じたようです。

わたしがガラシア病院に勤務させていただくことになるのはその7年後で栄養科に配属になりましたが、以前引越しの手伝いをした病院という親しみがあつたので、とてもすんなりといきました。

当時は産婦人科や小児科があり、とても賑やかでした。ベビーベッドの生まれたばかりの赤ちゃんたちはご家族だけではなく、私たち職員の癒しの光景でした。小さいいのちの一手一投足が、疲れた私たちを笑顔にしてくれ、大きな泣き声までも元気にしてくれました。産婦人科の廃止から30数年が経ちますが、ボランティアさんやお見舞いの方に「ガラシア病院で息子、娘を生みました」「ボクここで生まれました」と言われると、歴史を感じると共にその方々の人生に神様の祝福を改めて祈ります。

1998年5月には老人保健施設ニューライフガラシアが開設されましたが、老健の新築と病院の増築には多くのスタッフに関わり、さまざまな角度から専門的知識を提供し、準備には多くの時間を費やしました。私も多少の関わりがあり、夜食のおにぎりを作り、おやつ、お茶の準備等に労しましたが、今では懐かしい思い出となりました。

また、その時建てられた聖堂（チャペル）は祈りの場や癒しの場として、多くの方に利用していただいています。

## パストラルケア室 高野 美智代



やがて2005年4月にホスピスが開設されましたが、先に増築されたホールやボランティア室、デイルームは日々ホスピスを利用される方にとっても、ハード、ソフト面で大きな役割を果たしています。特にボランティア室はベッドカバーや日用品作成また布切等ボランティアさんの活動と奉仕の場になっています。時を告げ、心を天に向けさせてくれるアンジェラスの鐘も増築と共に設置されたものです。

第三番目に私が出会った建物は、今建築中のホスピス棟です。

1月13日に起工式が行われ、7ヶ月が過ぎましたが、老健の方と時々進捗状況を確認に行っています。医療の世界は日進月歩だと言われますが、建設業界も負けていません。ショベルカーの機能、機材、資材の種類など、また動線を見ていると何一つ無駄の無い動きで驚いています。この猛暑の中、工事に携わる方々に頭が下がり安全を祈らずにはられません。

来春には完成予定のホスピス棟は多くの方々の希望の建物となることを願っていますが、震災やオリンピック関係による建築ラッシュで、人件費、資材が高騰し、この建設工事にも大きな影響が及び、資金繰りに苦労しています。職員はもちろん多くの方が期待しているホスピス棟とその後の計画が順調に進むことを願い祈るばかりです。私たち職員は立派な建物にふさわしい医療やケアが出来るよう更に努力し準備しながら、掲げている理念を、置かれた場で与えられた方法で、自分の使命として実践していくことにも心くだいています。それは新しい革袋（建物）には新しいぶどう酒（医療ケア理念）を入れ、豊潤なものに変え、利用されるすべての人の喜びと安らぎ、癒しの場となることを願っています。

箕面の里山の美しい場所に建つ三つの建物への愛着と思い出に感謝の心を添え、新しい建物には希望と期待を抱いて筆を置きます。

## 在宅療養の力

難病であるALS（筋萎縮性側索硬化症）を80代で発症した利用者様。国立大学病院から自宅へ戻られましたが、身の回りのこと全てを他者に委ねなければならない状態でした。私達訪問看護師はご本人の希望する自宅での入浴を二人体制で行うことになりました。

会話のできる時にできる限りご本人を理解したいと、動かない手の代わりに私達の手を使ってもらいました。洗髪の仕方、髭の剃り方、髪の手入れ、痒いところに手の届くケアを提供するため、スタッフ間で情報共有やケア方法の検討を重ねました。また、筋萎縮による痛みを和らげるために理学療法士も手当てを行いました。



しかし、病状は急速に進行し食事ができなくなり、胃ろうを作るため再入院。入院中にも肺炎で発熱が続きました。到底退院できる状態とは思えませんでした。が、ご本人がどうしても自宅へ帰りた

と望まれ、ご家族も覚悟をもつての退院でした。もう十分な会話はできず返事ができる程度になっていましたが、とても安心した表情でした。退院されてからわずか1週間での旅立ちとなりましたが、ご家族様は「本人の言うとおりに退院させてあげて本当に良かった」と悲しみの中にありながらも、納得のいく看取りであったようでした。

私達訪問看護師は、ひとりひとりの利用者様とご家族の望む形に添えるようなケアを心がけています。

病院では一人の方に1時間～1時間半の時間を提供することは難しいですが、自宅ではその利用者様とご家族のためだけに使うことができます。やってほしい事、やりたいこと、制限がある中でも許されること、諦めなければならない事、ご家族と共にできること等、色々な個別の事情に合わせたケアができ、その方が想像以上の力を発揮できるようになっていく事が在宅療養の魅力です。

## ガラシア訪問看護ステーション 片山 敦子



## ホスピス夏祭り

8月10日、ホスピス夏祭りがガラシアホールで開催されました。

今年の夏祭りは例年以上にたくさん集っていただき最大の盛り上がりとなりました。

いつも料理を提供して頂いている栄養科の皆さんの工夫もあり、どれも参加者様が食べやすく美味しく、そして見た目も楽しい料理がテーブルに並びました。料理以外にもかき氷やアイスなども提供いただきました。

夏祭りを彩る催し物として、ボランティア有志の皆様によるコーラスがありました。どの曲も季節感があり、懐かしくてつい口ずさんでしまうような歌声で楽しませていただきました。

そして、病棟職員が集って活動をしているウクレレ部の演奏もありました。それぞれにウクレレを持ち寄って、南国を想像させる音色に、誰もが知っている曲を柔らかいウクレレの音で奏でていただきました。

とても和やかな雰囲気の中、参加された皆様の笑顔が絶えない貴重な時間となりました。ありがとうございました。

5階病棟 看護師 千原 直樹



## デイケアで「楽リハ」やってみませんか？

デイケアでは14時から約40分間、個別リハビリとは別に集団で行う「楽リハ」のプログラムを導入しています。

「楽リハ」とは「楽しく取組めて、体が楽になる」の「楽(らく)」と「リハビリ」の「リハ」合わせたもので、下肢筋力の維持・向上、生活能力の維持・向上、バランス機能の向上、筋肉量の減少予防を目的とし、身体能力に合わせてA・B、2つのグループに分かれて取り組んでいます。

また運動をしながら、「昨日の夕食は何を食べたか」などの質問、数字を数える、しりとりをする、歌を歌う、九九を行うなどして、身体と頭を同時に使うようにしています。最近テレビなどでよく特集されていますが、運動に加えて脳に負荷をかける計算やしりとりなどを同時に行うことで、記憶力が向上し認知症予防が期待できると言われています。



体だけでなく、脳も鍛えられる「楽リハ」。皆さんに楽しく、続けて取り組んでいけるよう、今後も工夫を重ねていきたいと思えます。

デイケアでは、8月より集団リハ（楽リハ）、食事、おやつがついた1日体験を始めました。体験希望の方は、ニューライフガラシア相談員までご連絡ください。

この機会にぜひいらしてみてください。お待ちしております。

ニューライフガラシアデイケア  
前川 実佳

## 当院では、頸動脈エコー検査を実施しています

頸動脈とは、脳に血液を送る首の血管です。

頸動脈エコーは、超音波検査で頸動脈を観察することにより、動脈硬化の診断ができる検査です。

### ①観察項目

- ・動脈硬化の有無 血管壁を観察して、動脈硬化の有無を調べます。動脈壁は、三層からなり、内膜と中膜を併せた厚さをIMTと呼びます。頸動脈のIMTが1.1mm以上で動脈硬化と診断され、同様に全身の動脈硬化も進んでいると考えられます。
- ・プラークの観察 1.1mm以上の限局性の血管壁の肥厚をプラークと呼び、動脈硬化の指標として重要です。プラークの大きさ、形状、表面、内部の状態などを観察し、治療方針などを検討します。

### ②検査の方法

- ・仰向けに寝た状態で、枕を外し、首の部分にエコー検査用のゼリーを塗りプローブをあてて検査をしていきます。

☆高血圧、高脂血症、糖尿病、肥満などがあると、動脈硬化が進みやすくなります。

頸動脈エコー検査をご希望の方は、主治医の先生にご相談下さい。

検査科 川邊 悦子

超音波検査装置



## がらしまつりのお知らせ

毎年恒例の「がらしまつり」は、ガラシア病院増改築工事中の為、規模を縮小しながらも地域の皆様と交流し、感謝の気持ちを伝える機会として『ありがとうをつなぐ～今までもこれからも～』をテーマに今年も開催いたします。ピアニスト古川アヤコさんとソプラノ歌手萩原裕子さん、フルート奏者下村真理子さんによる「癒しのコンサート」をはじめ、シスターのお店、物産展、栄養相談、子供ランドなど楽しい催しを企画しています。多くの皆様の参加をお待ちしております。

尚、収益金は病院増改築工事の費用に充てさせていただきます。

日時 2018年10月28日(日) 10:00～13:00(雨天決行)

※増改築工事の関係で駐車場が数台分しかございません。できるだけ公共交通機関等のご利用をお願い致します。

※当日は送迎バスを平日ダイヤで運行いたします。合わせてご利用ください。





# 病院増改築工事現況

北側(上側)の旧職員駐車場に建設している増築棟(仮称 北館)ですが、一番下(地下2階)の部分が建ち上り、その上に地下1階部分の鉄筋工事を進めています。この記事が読まれる頃は、地下1階から地上1階の床面までの型枠にコンクリートが流し込まれ、床面が一段上がっていると思います。この後は、さらに上階の工事を進め、内装・外装の工事を順次行っていく予定です。工事の進捗に伴い、既存の建物と繋げる工事が始まります。療養環境には十分配慮いたしますが、音と振動は発生致します。ご利用の皆様には大変ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解いただきます様宜しくお願いいたします。

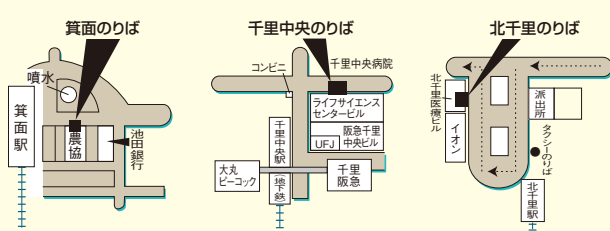


更新築準備室 福島 成之



●千里中央・北千里・箕面駅からシャトルバスを運行しています。

〈送迎バス各のりば〉



## ガラシア訪問看護ステーション

TEL 072-727-1866 FAX 072-729-3311

介護老人保健施設

## ニューライフガラシア

TEL 072-729-2346 FAX 072-729-7951

指定居宅介護支援事業所

## ケアプラン ガラシア

TEL 072-729-2347 FAX 072-729-3311

## 箕面市東部地域包括支援センター

TEL 072-729-1711 FAX 072-730-2230

医療法人ガラシア会 **ガラシア病院** 日本医療機能評価機構認定病院

〒562-8567 大阪府箕面市栗生間谷西6丁目14番1号  
TEL.072-729-2345 FAX.072-728-5166  
<http://www.gratia.or.jp/>



### ■診療受付時間

平日 8:30～11:30  
12:30～15:30  
土曜日 8:30～11:30

### ■休診日

日曜、祝祭日、土曜午後  
12/30～1/3

## 編集後記

平成最後の夏は酷暑に豪雨と異常気象がつづき、暑くて呼吸する事すらしんどい日々がつづきましたね。熱中症の救急搬送数もおそらく過去最高だったのではと思われます。残暑が続いていますが、夕方になると秋の虫も鳴き出し、ゆっくりですが秋が近づいているのを感じます。さてめぐみ 159 号も盛りだくさんの内容となっています。表紙の野菜は巻頭に掲載しているチャブレンのシスター高野が病院の庭で育てた野菜です。お顔の写真は小さくなってしまいましたが、育てたゴーヤを背景に撮影いたしました。是非読んで、見て下さい。

U.K

